

## 執筆者略歴

### 小泉 悠（こいずみ ゆう）

東京大学先端科学技術研究センター准教授

早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了（修士（政治学））。

民間企業勤務を経て、外務省国際情報統括官組織で専門分析員、未来工学研究所で特別研究員、国立国会図書館で非常勤調査員などを務めた。2019年に東京大学先端科学技術研究センター特任助教となり、2023年より現職。

著書に『「帝国」ロシアの地政学』（東京堂出版）、『現代ロシアの軍事戦略』（ちくま書房）、『オホーツク核要塞』（朝日新聞出版）などがある。

### 田中 義一（たなか よしかず）

2等空佐 航空研究センター総合企画推進研究室員

日本大学法学部卒業（学士（法学））、早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了（修士（政治学））。関心分野は、戦後日本防衛政策史、戦略研究。著作に、「DDV 構想、『いずも』型護衛艦改修の要因—軍事戦略論の視点から」『鵬友』第47巻第4号、2021年、「キーウの戦いにおけるロシアのエア・パワー—ロシアの戦略爆撃の様相とキーウ占領の失敗」『JASI リサーチメモ』R6-04号、2024年などがある。

### 山田 雄一郎（やまだ ゆういちろう）

3等陸佐 教育訓練研究本部教育部戦史教育室教官

早稲田大学第一文学部卒業、上智大学グローバル・スタディーズ研究科修了（修士）、陸上自衛隊指揮幕僚課程修了。

第37普通科連隊、第1空挺団、陸上幕僚監部防衛協力課、防衛研究所戦史研究センターなどを経て現職。

## 佐久間 一修（さくま かずのぶ）

1等空佐 航空研究センター総合企画推進研究室研究員（兼ねて航空幕僚監部防衛課）

防衛大学校総合安全保障研究科後期課程修了（博士（安全保障学））。航空自衛隊指揮幕僚課程修了。

航空団等、第12次ゴラン高原派遣輸送隊、航空幕僚監部装備課、同防衛課、幹部学校教育部、防衛大学校准教授、スタンフォード大学アジア太平洋研究センター客員研究員を経て現職。

専門は日米防衛関係史、エア・パワー論、軍事ドクトリン、軍事イノベーション。

著作に「「パワーの拡散」と1960年代の日米防衛関係—ケネディ・ジョンソン政権期の在日米軍削減を中心に—」（『防衛学研究』第63号、2020年9月）；

「第2次防衛力整備計画をめぐる日米関係—「赤城構想」と米国の対日外交・防衛政策」（『防衛大学校紀要』第121・122輯、2021年3月）などがある。

## 渡邊 旭（わたなべ あきら）

3等空佐 航空研究センター総合企画推進研究室 研究員

修士（安全保障学）。防衛大学校総合安全保障研究科修了。高射部隊等、防衛大学校を経て現職。

関心分野はドローン、エアパワー論。

著作に「低高度空域と航空作戦の関連性：ブレマーらによる『航空拒否』概念の検証」（『エア・アンド・スペース・パワー研究』第12号、2024年、マーク・E・スティル『マレー進攻航空作戦 1941-1942—世界を震撼させた日本のエアパワー』橋田和浩監訳、芙蓉書房出版、2023年（分担翻訳）等。

## 武内 真理（たけうち まり）

1 等空佐 幹部学校教育委員会事務局副室長

上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科国際関係論専攻修了（修士（国際関係））。航空自衛隊指揮幕僚課程修了。航空自衛隊幹部高級課程・統合高級課程修了。

作戦情報隊、西部航空方面隊調査課、航空幕僚監部情報課、内部部局大臣官房秘書課防衛審議官副官、外務省国際情報統括官組織、航空幕僚監部総務課などを経て現職。

## 根岸 大輔（ねぎし だいすけ）

1 等空佐 南西高射群副司令

防衛大学校応用物理学科卒業（学士（応用物理学））。航空自衛隊指揮幕僚課程修了。航空自衛隊幹部高級課程・統合高級課程修了。

第2高射群、第1高射群、第2高射群、航空総隊司令部、陸自東方総監部、統合幕僚監部防衛課、第21高射隊長兼ねて車力分屯基地司令、航空幕僚監部人事教育計画課などを経て現職。

## 山田 尊也（やまだ たかなり）

2 等空佐 航空研究センター総合企画推進研究室エキスパート研究員

修士（社会科学）。防衛大学校航空宇宙工学科卒。同総合安全保障研究科修了。航空幕僚監部、統合幕僚監部や各級司令部において指揮官の法的補佐を行う法務幕僚として勤務の傍ら、大阪大学大学院国際公共政策研究科で招聘研究員、大阪学院大学にて法学特別講義のゲストスピーカー等を務めた。2023年10月より現職。

専門は、主に宇宙戦など先端技術分野を用いる作戦及びそれに適用される法規について、工学的側面と安全保障学的・法的側面との文理融合的な研究を行う。

著作に、「スパイダーウェブ作戦の衝撃—現代戦におけるイノベーションと国際法秩序」、JASI レポート、R7-3、2025年、共著で、真山 全、山田「船舶自動識別装置（AIS）データによる国際海峡認定—国際海峡の日本領域内の存在可能性に関する海洋法的試論」『国際安全保障』第47巻第4号、2020年などがある。

**佐々木 泰成（ささき やすなり）**

1等空佐 前航空自衛隊幹部学校付

**佐伯 剛（さいき たけし）**

1等空佐 航空研究センター総合評価研究室研究員

防衛大学校機械工学科卒業（学士（機械工学））。航空自衛隊指揮幕僚課程修了。航空自衛隊幹部高級課程・統合高級課程修了。

北部航空警戒管制団、警戒航空隊、西部航空方面隊司令部、航空幕僚監部教育課、同装備体系課、作戦システム運用隊指揮所運用隊長、航空幕僚監部運用支援課などを経て現職。